

社会福祉法人富山県聴覚障害者協会

平成30（2018）年度事業報告書

全体的な報告

1. 社会福祉事業 法人本部事業

第67回北信越ろうあ者体育大会と第30回ろう教育を考える全国討論集会を主管開催し、成功しました。2018年4月1日に施行された富山県手話言語条例は、富山県手話言語制定記念フォーラムの開催、富山県手話施策推進協議会の開催、県内の公的病院へのタブレット端末配備による遠隔手話通訳サービス提供モデル事業を実施しました。富山県手話言語条例パンフレットを作成し、県民への啓蒙を図りました。第29回富山県ろうあ者大会の開催をはじめ、事業をすべて予定通りに実施しました。会員数は賛助会員を含めて336名でした。

2. 社会福祉事業 センター運営事業

富山県聴覚障害者センターの利用状況は、来所者6,590人、意思疎通支援事業の利用は全体で1,139件、部屋貸出は541件、相談対応は123件です。高齢部の交流サロンは20回開催の支援ができました。13年を過ぎ、メンテナンスに留意しつつ、さらに利用しやすいセンターになるよう努力していきます。

3. 公益事業

富山県社会参加総合推進事業、富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業、富山県コミュニケーション支援広域派遣事業、14市町村の意思疎通支援事業等の受託事業の他、手話通訳・要約筆記派遣、手話指導講師派遣等予定通り事業を進めました。平成30年9月から電話リレーサービス事業を開始しました。

4. 収益事業

販売した書籍、DVD等は1,118点（29年度1,014点）、季刊みみ279冊でした。新刊「新しい手話2019」「DVDで楽しく学べる はじめて出会う手話」、「使える！スポーツ手話ハンドブック」、講習会で使うテキストの販売が中心ですが、その他の書籍、DVDもPRと販売にご協力をお願いします。

5. 会計状況

公益事業にて電話リレーサービス事業の委託料入金があり、法人全体の当期資金収支差額は4,094,284円の黒字決算となりました。社会福祉充実計画の作成の必要はありませんでした。

1. 本部事業

(1) 総括報告

①第67回北信越ろうあ者体育大会を主管開催し、成功しました。

2018年6月22日～24日滑川市と富山市にて開催され、役員・選手203名を含む約300名が野球、卓球、ゲートボール、ボウリング、オープン競技（ビーチボール）の5つの競技で熱戦を繰り広げました。

②第30回ろう教育を考える全国討論集会を主管開催し、成功しました。

2018年8月25日～26日、第30回ろう教育を考える全国討論集会がサンシップとやま他にて開催されました。「手話言語法・条例をろう教育、福祉の発展につなげよう」のテーマのもと、パネルディスカッション、分科会が行われ、242名の参加者が熱心に討論しました。

③手話言語条例施行後の取り組み、手話言語法制定の取り組み

富山県手話言語条例が2018年4月1日に施行されました。

2018年9月1日（土）富山国際会議場にて、「ハンド・トゥ・ハート 手話も心に笑顔と幸せを届ける言語」をテーマに県主催「富山県手話言語制定記念フォーラム」が開催され、約300名集まりました。

富山県手話施策推進協議会、県内の公的病院にタブレット端末を配備し、インターネットを介して県障害福祉課に設置した手話通訳者が手話通訳を行う遠隔手話通訳サービス提供モデル事業は、3病院に配備が決まり、2019年度から始まります。

全国手話言語市区長会の加入状況については、県内10市長全てが加入となりました。

手話言語国際デーイベントの東京開催による「アイ・ドラゴン4による見る会」を、2018年9月23日に富山県聴覚障害者センターにて行いました。

富山県手話言語条例のパンフレットを作成し、県民への啓発を図りました。

④射水市で第29回県ろうあ者大会を開催しました。

第29回富山県ろうあ者大会が6月17日、射水市聴覚障害者協会の主管担当により、287名の参加のもと射水市にて開催できました。午前は手話・福祉・文化の3つの集いを行い、アトラクションでは砂田アトムさんによる講演・芝居、YOSAKOI踊り、射水市内4手話サークルによる手話コーラスが参加者を魅了しました。

⑤文化の集いの他、事業は予定通り実施しました。

文化の集いは、富山市障害者福祉プラザに約250名が集まり、東京から廣川麻子さんを迎え、「みんなで一緒に舞台を楽しもう」をテーマに講演していただき、ステージ発表、模擬店、販売、展示などで楽しくにぎやかな一日となりました。

その他のイベント、フォーラム、講座開催はおおむね計画通りに実施しました。第13回全国手話検定試験では141名の受験申込みがあり、132名が受験しました。

⑥会員の状況

正会員は平成29年度と同じ262名となりました。会費未納者には富山ろう友を1月から発送停止するまで一人ひとりの様子を確認して繰り返し納入をお願いしてきました。なお、全日本ろうあ連盟分担金は270人分納入しました。賛助会員は74人（一人当たり平均3,300円）となり、正会員と賛助会員を合計すると会員数は336人です。

	新川	中新川	富山	射水	高岡	砺波	合計
平成30年度	31	32	91	35	45	28	262
平成29年度	32	33	87	39	41	30	262

平成30年度 事業報告 () は全体の数

事業名	開催月日	場所	参加数
山の集い	5月12日	立山方面	33名
第1回理事会	5月19日	聴覚障害者センター	18名
第29回富山県ろうあ者大会	6月17日	射水市高周波文化ホール	287名
第1回評議員会	6月3日	聴覚障害者センター	20名
組織活動者研修会(深川誠子氏)	7月8日	聴覚障害者センター	39名
第48回将棋大会	7月29日	聴覚障害者センター	10名
第13回ブロック対抗ボウリング大会	8月5日	富山地铁コルテオホール	27名
富山県手話言語条例制定記念フォーラム	9月1日	富山国際会議場	300名
富聴協・富通研・県サ連三団体合同学習会	9月8～9日	砺波青少年の家	32名
第13回全国手話検定試験5・4級 59名申込	10月13日	聴覚障害者センター	受験55名
第13回全国手話検定試験3・2級 61名申込	10月14日	聴覚障害者センター	受験58名
第13回全国手話検定試験準1級・1級 21名申込	10月20日	聴覚障害者センター	受験19名
第2回理事会	10月21日	聴覚障害者センター	19名
スポーツの集い 第19回ビーチボール大会	10月21日	魚津市総合体育館	35名
第40回文化の集い(共同募金受配事業)	11月18日	富山市障害者福祉プラザ	約250名
第20回医療フォーラム(本会後援)	12月9日	聴覚障害者センター	15名
(第18回)全国手話通訳者統一試験	12月1日	聴覚障害者センター	受験16名
第18回ろう教育フォーラム	12月8日	サンシップとやま	20名
第31回麻雀大会	1月27日	聴覚障害者センター	9名
(第7回)全国統一要約筆記者登録試験	2月17日	聴覚障害者センター	受験6名
第30回耳の日福祉集会	3月3日	聴覚障害者センター	85名
第3回理事会	3月6日	聴覚障害者センター	14名
第2回評議員会	3月17日	聴覚障害者センター	19名

【北信越関係、全国関係】() は聞こえる人の参加数を加えた全体の数

事業名	開催月日	場所	参加数
第66回全国ろうあ者大会	6月7～10日	大阪府大阪市	33名(45)
第67回北信越ろうあ者体育大会	6月22～24日	富山県滑川市他	43名
第25回北信越ろうあ女性研修集会	7月21～22日	福井県福井市	5名
第48回デフユースin北信越	8月4～5日	石川県加賀市	8名
第50回全国手話通訳問題研究集会	8月17～19日	沖縄県那覇市	2名(7)
第30回ろう教育を考える全国討論集会	8月25～26日	富山県富山市	104名
第52回全国ろうあ者体育大会	9月20～23日	埼玉県	30名
手話言語国際デーイベント(東京開催)	9月23日	聴覚障害者センター	20名
全国ろう高齢者大会&ゲートボール・グランドゴルフ競技	9月28～30日	鹿児島県鹿児島市	13名
第60回北信越ろうあ者大会&北通研集会	10月6～7日	石川県金沢市	31名(57)
第48回全国ろうあ女性集会	10月26～28日	島根県松江市	2名
第27回北信越ろうあ連盟高齢部研修会	10月27～28日	石川県加賀市	3名
第52回全国ろうあ青年研究討論会	11月23～25日	秋田県秋田市	4名

(2) 会議開催

① 理事会の開催 (理事定数13名、監事2名)

5月21日(日) 第1回(通算第48回) 理事11名、監事2名出席

10月21日(日) 第2回(通算第49回) 理事9名、監事2名出席

3月6日(水) 第3回(通算第50回) 理事12名、監事2名出席

② 評議員会の開催 (評議員定数20名、監事2名)

6月3日(日) 第1回(通算第29回) 評議員15名、監事1名出席

3月17日(日) 第2回(通算第30回) 評議員15名、監事2名出席

③ 専門部会の開催 (定数20名)

4月21日(土) 夜 第1回 16名出席 県大会の準備と8月までの計画確認他

6月30日(土) 夜 第2回 18名出席 9月までの行事、文化の集い打合わせ他

9月1日(土) 夜 第3回 16名出席 12月までの行事打合わせ、会費納入点検他

9月29日(土) 夜 第4回 16名出席 文化のつどい、会費納入点検他

12月1日(土) 夜 第5回 16名出席 全日ろう連、ろう連への要望、会費納入点検他

1月6日(日) 午後 第6回 19名出席 3月までの行事打合せ他、

2月17日(日) 全日 第7回 19名出席 年間のまとめ、来年度計画

④ 運営委員会の開催 定員7名

(石倉理事長、小中施設長、中橋事務局長、村田理事、針山理事、山崎理事、南監事)

5月15日(火) 夜 第1回 6名出席

8月9日(木) 夜 第2回 5名出席

10月16日(木) 夜 第3回 6名出席

1月25日(木) 夜 第4回 6名出席

3月17日(日) 16:00～ 第5回 6名出席

(3) 富山ろう友編集、発行

A 4版24ページ 毎月560～580部印刷

内 訳	平成31年3月号	参考;30年10月
印刷部数	570部	580部
発送部数	562部	571部
贈呈※	96部	96部
協会正会員	209部	212部
県内賛助会員	70部	66部
県内一般購読者	145部	153部
県外賛助会員	6部	8部
県外一般購読者	36部	36部

※贈呈先

県市町村及び社会福祉協議会、全日本ろうあ連盟及び連盟加盟団体他、提出用2部。

印刷部数の80%が有料購読者(会員、賛助会員購読含む)であることが必要です。
令和元年5月号は570部の印刷としています。

(4) 共同募金配分金助成事業の実施

① 聴覚障害者文化活動促進事業 第40回文化の集い

期 日 ; 平成30年11月18日(日) 9:30～16:00

場 所 ; 富山市障害者福祉プラザ

参加者；約250名

文化講演会「みんなで一緒に 舞台を楽しもう」の他、ステージ発表コンクール、手話学習者の手話スピーチコンテスト、活動紹介展、作品展、模擬店、書籍等の販売を行いました。

②手話講師と手話通訳者のスキルアップ事業

1)手話講師等スキルアップ研修会

期 日；平成31年2月2日（土）～3日（日）

場 所；富山県聴覚障害者センター

講 師；東京外語大学非常勤講師

参加者；31名

手話言語の言語としての特徴（非言語的要素など）及び文法の学習を行い、受講者との適切な会話を行いながら指導していく演習を行う事ができました。

2)手話通訳者スキルアップ研修会

期 日；平成31年3月24日（日）

場 所；富山県聴覚障害者センター

講 師；全国手話研修センター手話通訳者養成テキスト編集委員

参加者；55人

手話通訳者養成テキストのポイント、要約の力、日本語の読みこなし、ろう者に伝わる手話の表現力などについて、演習を交えながら学習することができました。

（5）第67回北信越ろうあ者体育大会の主管開催

平成30年6月22日～24日滑川市と富山市にて開催され、北信越ブロックの長野県、新潟県、石川県、福井県、富山県から役員・選手203名を含む約300名が野球、卓球、ゲートボール、ボウリング、オープン競技（ビーチボール）の5つの競技で熱戦を繰り広げました。卓球競技の団体男女と男子個人、ボウリング競技の団体が優勝するなど富山県選手が活躍しました。

（6）第30回ろう教育を考える全国討論集会の主管開催

平成30年8月25日～26日、第30回ろう教育を考える全国討論集会がサンシップとやま他にて開催されました。「手話言語法・条例をろう教育、福祉の発展につなげよう」のテーマのもと、パネルディスカッション、分科会が行われ、242名の参加者が熱心に討論しました。

開会式では富山県知事の代理出席された県障害福祉課長が全て手話とともにあいさつし、富山県手話言語条例の成果が表れていました。

本会の他、富山県手話通訳問題研究会、富山県手話サークル連絡協議会、全国要約筆記問題研究会富山支部、コミュニケーション・クローバー、富山と高岡両聴覚総合支援学校の協力を得て、5団体と2機関による実行委員会を結成し、開催の準備と運営を円滑に行う事ができました。

（7）情報・コミュニケーション法、手話言語法実現を目指す取り組み

①手話言語法・富山県手話言語条例の取り組み

富山県手話言語条例が平成30年4月1日に施行されました。4月2日の朝、富山駅にて障害者差別解消に関する県条例の啓発等とともに、手話言語条例施行のPR・チラシの配布を行いました。

9月1日（土）富山国際会議場にて、「ハンド・トゥ・ハート 手話も心に笑顔と幸せを届ける言語」をテーマに県主催「富山県手話言語制定記念フォーラム」が開催され、約300名集まりました。手話サークルによる手話パフォーマンス、県知事の挨拶の後、条例制定に尽力されたこと等により富山県聴覚障害者協会に感謝状が授与されました。その後、NHK教育番組の「バリバラ」司会者の講演、「もっとわかり合える、聞こえない人と聞こえる人のコミュニケーション」をテーマのパネルディスカッション、他にミニ手話講習と手品のアトラクションも行われ、条例制定を祝いました。条例啓発パンフレットもこのフォーラムに間に合うよう発行され、参加者に配付されました。ロビーでは、全日本ろうあ連盟からの手話言語法、デフリンピック、また鳥取県手話パフォーマンス甲子園などの展示がありました。

この他、手話による情報発信として、9月から知事定例記者会見の動画に手話通訳が付けられています。学校における手話の普及として、富山と高岡聴覚総合支援学校にて、教職員向けや地域開放ミニ手話講座が開講されました。

富山県手話施策推進協議会は3回開催され、第4次富山県障害者計画（2019年度～2023年度）に盛り込まれる手話に関する施策がまとめられました。

9月28日（水）夜 第1回 条例の方向性について

11月8日（水）夜 第2回 第4次障害者計画に盛り込む施策のたたき台について

1月24日（金）夜 第3回 第4次障害者計画に盛り込む施策案の確認について

滑川市の場合は、昨年4月からの手話言語条例の施行を受けて、平成30年6月から手話通訳者を市役所に設置しました。この設置手話通訳者がケーブルテレビを使って手話の普及を図っています。

また、全国手話言語市区長会の加入状況については、県内10市全てが入会となりました。

②障害者差別解消法・富山県条例の取り組み

富山県障害フォーラムと連携し、「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」のキャンペーン、理解と啓発へのフォーラム開催に取り組みました。

・富山県障害フォーラム（8団体による構成）会長・事務局長会議

第1回 5月17日（木） 第2回 6月18日（月） 第3回 7月12日（木）

第4回 7月24日（火） 第5回 12月13日（木） 第6回 2月14日（木）

・4月2日（月）朝 富山駅にて障害にかかる普及啓発活動

・8月4日（日）午後 サンシップとやま ろう者の参加約5名

日本障害フォーラム障害者権利条約パラレルレポート公開フォーラム
講演とパネルディスカッション

・その他、富山県障害者社会参加推進事業としての障害者相談員活動強化研修会参加
7月5日（木）～6日（金）魚津市金太郎温泉 ろう者の参加4名

③情報・コミュニケーション法の取り組み

特に動きはありませんでした。

(8) 災害対策

9月2日に行われた氷見市を中心に行われた富山県総合防災訓練に対し、聴覚障害者災害救援富山県本部として、運営委員会を開催し、訓練に高岡ろう友の会、氷見市手話サークルとともに参加しました。

8月21日（火）第1回運営委員会 8名参加

総合防災訓練打合せ、災害対策の要望事項、中央本部の情報他

9月2日（日）県総合防災訓練 氷見市湖南小学校会場に参加・センター対応

9月14日（金）シェイクアウト訓練、非常警報等の点検、非常口の点検

(9) 要望取り組み

- ①富山労働局との懇談 平成30年4月26日（木）5名出席、富山労働局から2名
魚津、富山、高岡のハローワークに配置されている手話協力員の活動状況の報告と意見交換を行い、活動改善へについて要望懇談を行いました。
- ②県障害福祉課要望懇談 平成30年11月21日（水）9名出席、障害福祉課から3名
県手話言語条例による施策の充実、聴覚障害者センターの運営と備品購入の補助、意思疎通支援事業の充実、防災対策、県提供番組に手話・字幕付与、聴覚スクリーニング事業に関連して手話やセンター・協会等の情報提供、労働施策の充実等を要望しました。
- ③県教育委員会要望懇談 平成30年11月21日（水）9名 教育委員会から2名
県手話言語条例による聴覚総合支援学校教員の手話習得、ろう教員の研修時の情報保障、手話ができる学校環境作り、一般学校での手話普及について要望しました。

(10) 体育各部の活躍

- ①第67回北信越ろうあ者体育大会 平成30年6月22日～24日 富山県滑川市他
野球競技 準優勝
女子卓球 団体優勝、個人準優勝・三位、ダブルス優勝、
男子卓球 団体優勝、個人優勝・準優勝・三位、ダブルス優勝・準優勝・三位
卓球 混合ダブルス優勝・準優勝・三位
ボウリング男女混合 団体優勝、個人準優勝
ゲートボール競技 予選リーグ敗退
- ②第52回全国ろうあ者体育大会 平成30年9月20日～23日 埼玉県
野球、卓球、ボウリング出場
卓球 男子団体三位、男子個人ベスト8、男子ダブルスベスト8
ボウリング 男子団体五位

(11) 旭日単光章受章者の記念祝賀会開催

本会の前身である富山県ろうあ福祉協会の元副会長、体育部長が、平成30年秋の叙勲にて旭日単光章を受章されました。本会でも評議員、専門部役員を担って頂き、通算して33年間役員活動をされ、ろう者の福祉向上と手話普及等に尽力されました。協会として高岡ろう友の会、雷鳥会とともに協力とともに平成31年3月31日（日）、高岡市のホテルニューオータニ高岡にて祝賀会を開催しました。87名の参加がありました。

(12) 社会福祉法人全国手話研修センター主催 第12回全国手話検定試験富山会場の実施

富山試験会場の受験者申込み数141名（全国の受験申込数10,835名）

10月13日（土） 5級受験申込33名、当日受験30名
 4級受験申込26名、当日受験25名
 10月14日（日） 3級受験申込32名、当日受験31名
 2級受験申込29名、当日受験27名
 10月20日（土） 準1級受験申込13名、当日受験11名
 1級受験申込8名、当日受験8名

(13) 会員の動向

地区別	30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	賛助会員の動向	
新川地区	31	32	31	29	28	31	34	24年度	69人
中新川地区	32	33	34	34	35	39	39	25年度	68人
富山地区	91	87	90	91	82	90	93	26年度	77人
射水地区	35	39	38	38	34	38	35	27年度	69人
高岡地区	45	41	43	48	51	51	55	28年度	74人
砺波地区	28	30	29	31	29	33	31	29年度	70人
県外	0	0	0	2	3	4	3	30年度	74人
合計	262	262	265	273	262	286	290		

平成30年度会費納入者 名の内訳

単身会費	夫婦会費	高齢会費	高齢夫婦会費	特別会費	学生会費	合計
124名	30組60名	48名	14組28人	1人	1人	262名

①正会員・賛助会員の確保について、富山ろう友での呼びかけ、文書配布やファクス配信時に呼びかけ、各支部定期総会などの行事や手話サークル活動などで呼びかける他、会員拡大・日本聴力障害新聞購読者拡大サミット会議を2回開催し、点検と対策を協議しました。

サミット会議開催 第1回；平成30年8月3日（金）、第2回；11月1日（木）

②協会の活動紹介と会員勧誘を兼ねたパンフレットを活用しています。

(14) その他

①社会福祉法人・施設の富山市福祉保健部指導監査課による指導監査

平成30年9月11日（火）午前、富山市指導監査課から3名来所され、法人協会の運営、経理、施設経営について監査を受けました。その結果、10月12日に文書指摘事項、口頭指摘事項、助言事項の通知がありました。

- ・文書指摘事項 定款をHPに公表すること→すでに掲載済み
 現況報告書の報酬等の総額報告に、職員を兼ねている理事の給与を含めること→職員を兼ねている理事が一人だけなので修正は不要となった。
- ・口頭指導事項 理事会、評議員会を全て欠席の者は、次回選任時によく検討すること
 評議員会の招集は理事会の決議に入れること
 理事会・評議員会の保存期間は10年間とすること
 評議員会・理事会の議題・議案について、特別の利害関係を有する者がいないかどうか確認すること
 理事長の業務執行の権限に関する規定等について→細則にある

- ・助言指導事項 理事会、評議員会の議事録を早急に作ること
経理規程の改定通知に合わせた改訂→次回3月理事会に議案提出
契約書などは、適切に管理すること
- ②社会福祉法人の現況報告・登記
平成30年6月3日の評議員会の後、現況報告と会計資料を独立行政法人福祉医療機構による社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムによって6月末に入力指定しました。また資産の総額変更の登記申請を行いました。
- ③事務局実務打ち合わせ会 月1回、午後6時40分～8時頃
- ④平成30年6月17日の第29回富山県ろうあ者大会・射水（射水市聴覚障害者協会主管）の開催支援をしました。
- ⑤第30回富山県ろうあ者大会・入善（新川ろう連合会主管）の開催準備を行いました。
- ⑥各専門部、特別委員会の活動
- ⑦各支部協会との連絡・連携
- ⑧県、富山と高岡聴覚総合支援学校、県社会福祉協議会、県身体障害者団体協議会他との連絡、会議
 - ・県障害者施策推進協議会・自立支援協議会委員 理事長
 - ・県民福祉推進会議委員 理事長
 - ・県障害者差別解消法・条例に関する調整委員会委員 理事長
 - ・県手話施策推進協議会委員 理事長他
 - ・県社会福祉推進協議会委員 理事長
 - ・県障害者スポーツ協会理事 理事長、体育部長
 - ・県身体障害者団体協議会 理事長、業務執行理事、事務局長
他に、監事、結婚相談員の担当あり、
 - ・県障害者社会参加推進会議委員 理事長
 - ・県社会福祉協議会評議員 業務執行理事
 - ・富山聴覚総合支援学校と高岡聴覚総合支援学校評議員 教育対策部役員担当
- ⑨県障害者福祉普及啓発キャンペーン
 - ・普及啓発イベント とやま共生フォーラムは、平成30年11月18日（日）に行われ、本会文化の集いと重なったため、メッセージのみの協力となりました。
- ⑩北信越ろうあ連盟、一般財団法人全日本ろうあ連盟、NPO法人ろう教育を考える全国協議会、社会福祉法人全国手話研修センター（後援会）との連携
- ⑪関係団体との連携
 - 富山県聴覚障害者の医療を考える会；運営委員会、医療・介護・防災グループ
 - 富山県手話通訳問題研究会；定期総会
 - 富山県手話サークル連絡協議会；定期総会出席他
 - 富山盲ろう者友の会；定期総会出席他
 - 特定非営利活動法人大きな手小さな手；定期総会出席他
 - コミュニティ・クローバー

2. センター運営事業

平成30年度の富山県聴覚障害者センター来所者は約6,590名（29年度6,814名）。生活訓練講座、手話通訳者養成・研修等の講座、関係団体の部屋利用等、たくさんの方々に利用していただきました。

※センターの業務

- ①手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の派遣を行う。
- ②手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成、研修の充実に努める。
- ③手話講習会の充実、指導者の派遣、テキストや参考図書の販売等、手話の普及に努める。
- ④字幕・手話付きビデオライブラリーの貸し出しを充実するため、リストの整備・発行、貸出業務の迅速化に努めるとともに、自主番組を制作する。
- ⑤聴覚障害児・者に関わる相談支援に努める。
- ⑥IT等による聴覚障害者への情報提供に努める。
- ⑦視聴覚情報機器の貸し出しを行う。
- ⑧大研修室と、研修室等の貸し出しを行う。
- ⑨聴覚障害者を対象にした各種講座開催、文化・スポーツ等のイベント支援に努める。
- ⑩広報誌発行やイベント等による啓発活動に努める。
- ⑪富山県手話言語条例施行による施策推進に協力する。
- ⑫電話リレーサービス提供事業を行う。

1. 手話通訳者・要約筆記者・盲ろう者向け通訳・介助員の派遣（ ）は平成29年度

	手話通訳者派遣		要約筆記者派遣		盲ろう者向け通訳・介助員派遣		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
14市町村から受託の意思疎通支援等事業	647 (590)	726 (666)	20 (23)	42 (50)			667 (613)	768 (716)
富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業					151 (111)	225 (164)	151 (111)	225 (164)
富山県コミュニケーション支援事業	25 (26)	34 (34)	5 (9)	14 (31)			30 (35)	48 (65)
富山県障害者社会参加総合推進事業・生活訓練講座等における手話通訳派遣	29 (30)	52 (52)	1 (1)	4 (3)			30 (31)	53 (55)
一般派遣	268 (267)	475 (469)	33 (27)	82 (89)			301 (294)	557 (558)
合計	969	1,287	59	142	151	225	1,179	1,654
富山県障害者社会参加総合推進事業・手話通訳設置事業	※287 (165)	※287 (165)					※287 (165)	※287 (165)
平成29年度の合計	913	1,221	60	173	111	164	1,084	1,557

※富山県障害者社会参加総合推進事業・手話通訳者設置事業の実績数については、市町村・県・講座等・一般派遣の実績数の中に含まれているので、合計数には加算していません。

2. 手話通訳者・要約筆記者等の養成・研修

- ①富山県障害者社会参加総合推進事業の手話通訳者養成・研修事業の開催
 - ・手話通訳Ⅰ 平成30年6月3日～平成31年3月10日 全38講座 修了者9人
 - ・手話通訳Ⅱ 平成30年5月12日～平成31年3月9日 全38講座 修了者6人
 - ・手話通訳Ⅲ 平成30年4月22日～平成30年9月30日 全13講座 修了者11人
 - ・現任研修 平成30年9月1日～平成31年3月24日 全7講座 のべ参加者288人
 - ・登録試験 平成30年12月1日（土）受験者数；16人 合格者；3人
 - ・社会福祉法人全国手話研修センター主催の手話奉仕員・手話通訳者講師養成講習会
にのべ12人派遣
- ②富山県障害者社会参加総合推進事業の盲ろう者向け通訳・介助員養成事業の開催
 - ・平成30年7月8日～平成30年12月16日 全12講座 修了者5人
 - ・現任研修 平成31年2月24日（日） 受講者14人
- ③富山県障害者社会参加総合推進事業の要約筆記奉仕員養成・研修事業の開催
 - ・養成講習 手書き・PC 平成30年5月20日～平成30年12月20日 後期15講座
PC 平成30年5月31日～平成30年12月16日 後期15講座
修了者 4名 手書きコース1人 パソコンコース3人
 - ・登録試験 平成31年2月17日（日）受験者数；6人 合格者；なし
 - ・現任研修 平成31年3月10日（日）受講者15人

3. 手話講習会の講師派遣、テキストや参考図書の販売等、手話の普及

- ①15機関・学校・団体からの手話講習会、福祉体験講座等の依頼に対応し講師を派遣。
 - ・北陸ビジネス福祉専門学校 ・ 県職員研修所手話講座
 - ・富山市手話講習会基礎課程昼の部 ・ 富山大学人間発達科学部 特別支援概論
 - ・富山短期大学 ・ 上市高校 社会福祉援助技術
 - ・県立中央農業高等学校 ・ 富山南高校
 - ・となみ野高校 福祉特別講座
 - ・砺波市手話講習会 ・ 南砺市手話講習会 ・ 氷見市手話講習会
 - ・黒部市手話講習会
 - ・YKK（株）黒部事業所 菊池、清水
 - ・プラチナコンシェルジェ 富山駅総合案内所等職員手話講座
- ②テキスト、参考図書については、「手話を学ぶ人のために」「手話を学ぼう手話で話そう」「聴さんと学ぼう」「わたしたちの手話学習辞典Ⅰ、Ⅱ」「手話で防災」「新たちゃんと学ぼう」「新しい手話2019」「DVDで楽しく学べる はじめて出会う手話」「使える！スポーツ手話ハンドブック」等、映像媒体を含めて1,118点の販売がありました。
- ③社会福祉法人全国手話研修センター主催の第13回全国手話検定試験5級から1級まで全級の試験会場をセンターで開催し、手話学習者、手話ボランティアなどへ、手話学習の目標の一つとして総計141人から受験申込み頂き、当日は132人の方が受験され、123人が合格されました。
- ④センターのコミュニティ・サロンにテキスト、参考図書コーナーを設け、利用者がセンター内での学習に利用できるようにしました。

4. 聴覚障害者向けの手話・字幕番組の自主制作

- ①収録 平成30年度手話通訳養成「手話通訳Ⅰ」受講者選定用読取試験映像
 第29回富山県ろうあ者大会in射水
 平成30年度組織活動者研修会講演
 第30回ろう教育を考える全国討論集会 開会集会全体会、閉会集会
 「目で聴くテレビ」の「目で聴く日聴紙」毎月1回
 富山県手話言語条例制定記念フォーラム
 第40回文化の集い
 県知事記者会見手話通訳 月1回
- ②編集 第28回富山県ろうあ者大会・小矢部
 第39回文化のつどい
 県知事記者会見手話通訳、県のホームページアップ用に提供
 その他、目で聴く日聴紙、日本手話研究所標準手話確定普及研究部
 北信越班、過去収録映像のリメイクなど
- ③企画 2019年度目で聴くテレビ提供番組の企画

5. 聴覚障害児・者に関わる相談支援

労働	医療	教育	手続	生活一般	通訳依頼	その他	合計
10	4	9	10	70	5	40	148

- ・人間関係、家庭生活（住居、高齢、病気対応等）に関すること
- ・パソコン、携帯電話、スマホ、ファックス等に関すること
- ・補装具、日常生活用具に関すること
- ・介護保険サービス、生命保険等に関すること
- ・難聴者との手話・生活・就労相談等
- ・教育相談
- ・その他、文書の内容説明、手話通訳、活動に関することについての相談
- ・その他、文書の内容説明、手話通訳、活動に関することについての相談

6. IT等による聴覚障害者への情報提供

- ①富山県聴覚障害者センターの業務・利用の紹介、社会福祉法人富山県聴覚障害者協会の活動・行事紹介等をインターネットホームページ（月1回更新）、字幕付き映画上映や手話通訳付きイベントの案内等をブログ（随時更新）で情報提供。
- ②コミュニティ・サロンのインターネット接続可能なパソコンの利用。
- ④映画館で上映される日本映画の字幕版上映日時をファクスにより、県聴覚障害者協会の役員・支部、富山・高岡聴覚総合支援学校、難聴者団体に案内。またブログに掲載。
- ⑤障害者放送統一機構の「目で聴くテレビ」をセンター来所者に紹介。
 平成28年9月23日、「アイドラゴン4」による手話言語の国際デー記念イベントを見る会の開催。
 「目で聴く日聴紙」を高齢部交流サロンにて見てもらい、解説する。

7. 視聴覚情報機器の貸し出し

プロジェクタ	プレゼン・要約筆記用	22
パソコン	プレゼン・要約筆記用	1
スクリーン	プレゼン・要約筆記用	4
無線呼出 合図君	振動により呼出を伝える	1
小型LED文字表示器	防災訓練	1

8. 大研修室、研修室等の貸し出し

(29年度525件)

貸し出し室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大研修室	1	2	2	3	11	0	7	1	9	2	7	8	53
大研修室A	0	3	1	7	2	3	2	5	3	1	1	0	28
大研修室B	0	0	0	2	0	2	1	2	1	0	0	0	8
研修室	13	16	11	21	19	20	14	17	14	12	12	13	182
ボランティア交流室	13	17	9	14	12	13	15	12	10	14	19	17	165
コミュニティ・サロン	5	2	5	1	4	4	3	5	4	3	2	3	41
和室	0	2	2	1	1	1	2	2	0	0	2	3	16
スタジオ	0	1	2	0	2	2	5	4	3	1	2	5	27
ミーティング・ルーム	2	4	1	2	0	0	4	1	1	3	2	1	21
合計	34	47	33	51	51	45	53	49	45	37	47	50	541

①利用団体

富山県聴覚障害者協会関係、北信越ろうあ者体育大会関係、ろう教育よ考える全国討論集会実行委員会関係、

富山市聾唖福祉協会、滑川市ろうあ福祉協会、高岡ろう友会、

富山ドラゴンズ、陸上部、富山聾史研究グループ、富山盲ろう者友の会、富山県聴覚障害者の医療を考える会、富山県聴覚総合支援学校同窓会、人工内耳友の会、

富山県手話通訳問題研究会、富山県手話サークル連絡協議会、

手話サークルあざみ・若葉・あゆみ、全国要約筆記問題研究会富山支部、

北信越ろうあ連盟、北信越手話通訳問題研究会、全国手話研修センター手話研究所標準手話確定普及研究部北信越班、富山県障害者施策フォーラム推進協議会、他

②ボランティア交流室のロッカー貸し出し団体 10団体

富山県手話通訳問題研究会、富山県聴覚障害者の医療を考える会、富山県手話通訳士会、手話サークルあざみ、手話サークルあゆみ、富山盲ろう者友の会、富山聾史研究グループ、社会福祉法人富山県聴覚障害者協会女性部・青年部・高齢部、

9. 聴覚障害者を対象にした講座・イベント・デイサービス活動等の支援

①高齢部交流サロンは1月を除き、月1回～2回、全体で22回開催されましたが、このうち、センターでは20回開催しました。JR富山駅～センターの送迎の他、交流内容の企画相談、実施の支援等を行いました。

②平成31年3月3日（日）センター12周年イベント・2019耳の日福祉集会を開催しました。映像ライブラリーからの上映会と貸出のPR、その他手話の本等の普及販売等を行いました。

③平成30年6月17日（日）射水市で開催の第29回富山県ろうあ者大会の他、第40回文化の集い、第48回将棋大会、第31回マーじゃん大会等の行事開催を支援しました。

④富山県手話言語条例施行により、平成30年9月1日（土）に開催された県主催の富山県手話言語条例制定記念フォーラム及び啓発パンフレット発行の他、平成30年4月3日（月）富山駅構内にて県手話言語条例施行のキャンペーン街頭活動、手話普及推進

事業等に協力しました。

- ⑤富山県障害者社会参加総合推進事業の聴覚障害者生活訓練事業の講座開催を支援。
平成30年4月8日～平成31年3月23日 全46回 参加数のべ1,285人。
この内、富山県聴覚障害者センターで開催したものは18講座。参加者のべ320人

10. 広報誌発行やイベント等による啓発活動。

- ①協会機関紙「富山ろう友」の発行支援と「センターだより」掲載
「センターだより」をもうけて、センターの利用状況と利用案内を掲載しました。本会ホームページにもアップしました。
- ②手話通訳・要約筆記派遣、字幕付きビデオ貸し出し、センター利用の手引きを聴覚障害者、富山聴覚総合支援学校、高岡聴覚総合支援学校、市町村等の関係機関等に配布しました。

11. その他

①センター来所者実績

(29年度6,814人)

来所客	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障害者	288	213	205	208	238	191	201	197	205	117	228	320	2,611
健聴者	220	306	258	378	462	278	434	348	323	238	381	352	3,978
合計	508	519	463	587	700	469	635	545	528	355	609	672	6,590

- ②センター見学の実績 48人。(個人6人、団体3)

龍谷富山高校校外実習、富山県聴覚総合支援学校、高岡聴覚総合支援学校他、個人

- ③福祉サービス苦情解決については、特段の苦情はありませんでした。改善要望はいくつかあり、記録整備をきちんとしていくことが課題となっています。

- ④防火管理については、9月14日(金)にシェイクアウト訓練、警報・消火器の点検と消防計画担当を確認しました。

また、9月2日(日)に行われた富山県総合防災訓練において、氷見市会場の氷見市湖南小学校体育館とセンターをスカイプでつないだ連絡、情報提供の訓練を行いました。

聴覚障害者災害対策山県本部会議の開催において、各市町村の緊急連絡体制の調査マニュアル・啓発パンフ整備等について検討を進めた他、福祉避難所の設置・運営に関する実務研修に担当職員を派遣しました。

- ⑤修繕等については、エレベータのロープ・バッテリー等の交換工事、交流無停電電源装置取り替え工事を完了しました。スタジオの編集機器の内、データ保存用のハードディスクの故障による部品購入がありました。また、編集機器の更新及び床の絨毯の更新について検討を進めました。

- ⑥職員の研修、福利厚生

職員全員が健診を受けました。県外出張の研修は下記の5つです。

- ・NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会2018年度総会・第14回(通算第26回)大会
平成30年6月13日(木)～15日(金) 福島県福島市 施設長参加
主管 一般社団法人の福島県聴覚障害者協会・福島県聴覚障害者情報提供施設

- ・NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会意思疎通支援事業担当者研修会
平成30年7月25日（水）～27日（金）京都市 手話通訳者設置職員参加
 - ・NPO法人全聴情協第二ブロック聴覚障害者向けソフト制作担当研修会
平成30年9月19日（水）新潟県聴覚障害者市情報センター スタジオ対等職員参加
 - ・NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会第二ブロック施設長会議
平成31年1月29日（火）石川県聴覚障害センター 施設長、事務局長参加
 - ・一般財団法人全日本ろうあ連盟専従職員研修会
平成30年9月6日（木）～8日（金）栃木県那須塩原 総務担当職員参加
また、電話リレーサービス事業に伴う、日本財団との意見交換会、長野聴覚障がい者情報センターでの研修会に参加し、研修と意見交換を行いました。
 - ・平成30年12月12日（水）日本財団意見交換会 2名参加
 - ・平成31年1月29日（水）長野県聴覚障がい者情報センター 2名参加
- ⑦センターにかかる業務委託契約については下記の通りです。
- | | |
|--------------|--|
| セキュリティ（火災保険） | セコム北陸株式会社 |
| 清掃 | 株式会社 ホクタテ |
| エレベーター保守 | 東芝エレベーター株式会社 |
| パソコン、プリンタリース | 北陸リース株式会社 |
| 自動販売機 | 合同会社エス・ブイ北陸（旧・北陸富士ベンディング株式会社） |
| ケーブルテレビ | 株式会社ケーブルテレビ富山（コミュニティコース） |
| 電話回線 | NTT西日本 光ネクスト |
| インターネット | トナミ運輸株式会社トナミインターネットサービス
コーラルネット（ホスティングサービス） |

3. 公益事業

公益事業は、富山県から「富山県障害者社会参加総合推進事業」、「富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業」、「富山県コミュニケーション支援広域派遣事業」の委託、富山市を除く14市町村から障害者総合支援法・地域生活支援事業における意思疎通支援事業の委託を受けて事業を実施しました。また

また、自主事業として手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助員、手話講習会講師派遣の事業を実施しました。

1. 富山県障害者社会参加総合推進事業

(1) 平成30年度手話通訳者養成・研修事業

①手話通訳者養成講習会・手話通訳者現任研修会

受講数・修了数；

	手話通訳Ⅰ	手話通訳Ⅱ	手話通訳Ⅲ	現任研修	合計
受講者数	15	7	11	60	93
修了者数	9	6	11		26
延べ受講者数	439	227	117	288	1,078

講師；富山県聴覚障害者協会役員及び富山県手話通訳問題研究会員他

a. 手話通訳Ⅰ

期間；平成30年6月3日～平成31年3月17日 日曜日全19回38講座(講義4・実技34)
10:00～12:00 及び 13:00～15:00 1回に2講座行う。

①6月3日 ②7月1日 ③7月15日 ④7月29日 ⑤8月5日 ⑥8月19日
⑦9月2日 ⑧9月16日 ⑨9月30日 ⑩10月28日 ⑪11月11日 ⑫11月25日
⑬12月9日 ⑭12月16日 ⑮1月13日 ⑯1月27日 ⑰2月10日 ⑱2月24日
⑲3月10日

場所；富山県聴覚障害者センター

b. 手話通訳Ⅱ

期間；平成30年5月12日～平成31年3月9日 土曜日全19回38講座(実技33、講義5)
10:00～12:00 及び 13:00～15:00 1回に2講座行う。

①5月12日 ②5月26日 ③6月16日 ④7月7日 ⑤7月21日 ⑥8月4日
⑦8月18日 ⑧9月1日 ⑨9月15日 ⑩9月29日 ⑪10月27日 ⑫11月10日
⑬12月8日 ⑭12月22日 ⑮1月12日 ⑯1月26日 ⑰2月9日 ⑱2月23日
⑲3月9日

場所；富山県聴覚障害者センター

c. 手話通訳Ⅲ

期間；平成30年4月22日～9月30日 日曜日全11回、13:00～15:00

①4月22日 ②5月20日 ③6月3日 ④7月1日 ⑤7月8日 ⑥7月22日
⑦8月25日 ⑧9月1日 ⑨9月9日 ⑩9月30日

フォローアップ ⑪10月23日 ⑫11月1日 ⑬11月13日 ⑭11月16日 ⑮11月22日

場所；富山県聴覚障害者センター

また、指導を富山県手話通訳士会が担当した手話通訳者をめざす人の技術アップ講座の開催も下記のように全7回行った。

期間；平成30年6月2日(日)～8月12日(日) 日曜全5回開催

①6月2日 ②7月7日 ③7月22日 ④7月29日 ⑤8月12日

場所；富山県聴覚障害者センター

d. 手話通訳者現任研修

期 間；平成30年9月21日～平成31年3月24日 全7回

- ① 9月1日 ② 10月27日 ③ 11月10日 ④ 12月2日 ⑤ 1月20日
⑥ 2月24日 ⑦ 3月24日

場 所；富山県聴覚障害者センター

② 手話通訳者登録試験

期 日；平成30年12月1日（土）

場 所；富山県聴覚障害者センター

受験数；16人

合格者；3名 登録手話通訳者は87人となった。

③ 講師養成講習会派遣

社会福祉法人全国手話研修センター主催の下記の講師養成講習会に派遣しました。

講師リーダー養成研修会（手話奉仕員）

平成31年10月27日～28日 新潟県糸魚川市 派遣者6名

手話奉仕員養成担当講師連続講座（講義編）

平成31年3月16日～17日 京都市 全国手話研修センター 派遣者4名

手話通訳者養成担当講師連続講座（講義編）

平成31年3月9日～10日 京都市 全国手話研修センター 派遣者2名

④ 盲ろう者向け通訳・介助者養成

a. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会

期 間；平成30年7月8日～平成30年12月16日 日曜日全12回

- ① 7月8日 ② 7月22日 ③ 8月5日 ④ 8月19日
⑤ 9月9日 ⑥ 9月30日 ⑦ 10月14日 ⑧ 10月28日
⑨ 11月11日 ⑩ 11月25日 ⑪ 12月2日 ⑫ 12月16日

場 所；富山県聴覚障害者センター、富山市総合社会福祉センター

受講者；7名 修了者；5名 のべ受講者；計127名

指導者；富山県視覚障害者センター、富山盲ろう者友の会、
富山県聴覚障害者協会他

b. 盲ろう者向け通訳・介助員現任研修

期 日；平成31年2月24日（日）

場 所；富山県聴覚障害者センター

内 容；通訳における要約のポイント

受講者；14人

（2）平成30年度要約筆記者養成・研修事業

① 要約筆記者養成講習会

a) 手書き要約筆記とパソコン要約筆記の2コース

期 間；平成30年5月20日～平成30年12月16日 日曜日全15回 13:00～17:00

- ① 5月20日 ② 6月10日 ③ 7月1日 ④ 7月22日 ⑤ 8月5日
⑥ 8月19日 ⑦ 9月2日 ⑧ 9月9日 ⑨ 9月30日 ⑩ 10月21日
⑪ 10月28日 ⑫ 11月11日 ⑬ 11月18日 ⑭ 12月2日 ⑮ 12月16日

b) パソコン要約筆記コース

期 間；平成30年5月31～平成30年12月20日 木曜日全15回 13:00～17:00

- ① 5月31日 ② 6月21日 ③ 7月19日 ④ 7月26日 ⑤ 8月21日
⑥ 8月31日 ⑦ 9月6日 ⑧ 9月20日 ⑨ 10月4日 ⑩ 10月18日

⑪11月1日 ⑫11月15日 ⑬11月29日 ⑭12月6日 ⑮12月20日

場 所；富山県聴覚障害者センター

修了者；		a) 2コース	b) PCコース	合計
受講者数	4	1	5	
修了者数	3	1	4	
延べ受講者数	43	15	58	

講 師；全国要約筆記問題研究会富山県支部、イヤサポート・つむぎ会
富山県聴覚障害者協会

②要約筆記者登録試験（全国統一要約筆記者認定試験）

日 時；平成31年2月17日（日）

場 所；富山県聴覚障害者センター

受験数；6人 手書き3人 パソコン要約3人

合格者；ありませんでした。

また、要約筆記者登録試験受験者対象にフォローアップ講座を開催しました。

期 日；平成31年1月20日（日）、1月26日（土）

場 所；富山県聴覚障害者センター

受講者；5人

③要約筆記者現任研修

期 日；平成31年3月10日（日）

場 所；富山県聴覚障害者センター

内 容；情報へのアクセシビリティが保障される社会

講 師；一般社団法人全日本難聴者中途失聴者団体連合会理事長

受講者；15人

（3）平成30年度手話通訳者設置事業

①手話通訳設置の実績

下記の通訳・相談活動等287件の他、登録手話通訳者派遣のコーディネート業務を行いました。

●センター設置者担当分

内容内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
職業・労働	1						1		2	1	1		6
保健・医療	2	1	1		1	3	5	4	4	2	3	3	29
教育・育児											1		1
申請・交付手続													
生活一般				1					1				2
研修・講習等	1				3	1		1	3		1		10
大会・集会等	1	3	5	3	5	2	2	6				1	28
会議等	5	5	1	5		1	2	2	1	1		2	25
警察・司法			1		1	1							3
その他の	テレビ通訳	3		3	2	4	4	5	2	2	3	5	37
	学校等指導	1	2	3	1	3	1	3	4		1		19
	打合せ等			5	2						1	2	10
	相談対応								1	1	1		3
合 計	14	11	19	14	17	13	17	23	14	9	11	11	173

●県障害福祉課設置者担当分

内容内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
職業・労働													0	
保健・医療											3	2	5	
教育・育児													0	
申請・交付手続													0	
生活一般													0	
研修・講習等					2	1		1	2		1		7	
大会・集会等	1	2	2	2	2	4	8	2					23	
会議等		1	1	3		1	2	4	1	1	1	1	16	
警察・司法														
庁舎内ろう者対応	2	2	2	7	6	7	9	6	2	3	3	3	52	
その他	テレビ通訳			1		2	2	1	1			1	3	11
	学校等指導													
	相談等対応													
合計	3	5	6	12	12	15	20	14	5	4	9	9	114	

②登録手話通訳者頸肩腕障害予防の特殊検診

期 日；平成30年11月25日（日）

場 所；富山県聴覚障害者センター

受診者；19名

判定結果；A ；12名（63.2%） B 1 ；4名（21.1%）

B 2 ；2名（15.7%） C 1 ；0名（0%）

（４）平成30年度字幕入りビデオカセットライブラリー事業

①対象者の登録

個人； 248人 平成30年新規登録者 1人

団体； 11団体 平成30年度新規登録団体 0

②貸し出しの方法

- ・富山県聴覚障害者センター来所による貸し出しと、ファクスにて貸し出し申請を受付し映像媒体を郵送で貸し出しする方法で行いました。
- ・新川地区、中新川地区、富山地区、射水地区、高岡地区、砺波地区にて講座を開催したときに、新規ビデオを中心に貸し出しのPRを行いました。
- ・高岡地区、中新川地区、利波地区及び耳の日福祉集会にて、ライブラリーから選んだタイトルによる上映会を開催し、計約92人の鑑賞がありました。

③貸し出しの実績

延べ利用者 個人15人、団体 1 貸し出し延べ本数 42本

④その他、PR等

- ・富山県ろうあ者大会、文化の集いなどの講座を収録し、貸出リストに加えて利用の便を図りました。

- ・字幕、手話入り映像作品の紹介、ライブラリー事業のPR等を協会広報紙の「富山ろう友」紙上に紹介、全タイトル一覧を付けたPRパンフレットを作成、配布して、貸し出しの方法を含めて宣伝、利用促進に努めました。
- ・富山県聴覚障害者センター内で、新規映像テープ・DVDの貸出へ、ライブラリーの整備を行いました。

(5) 平成30年度聴覚障害者生活訓練事業

平成30年4月8日～平成31年3月23日 46講座

参加数のべ 1,285名

① コミュニケーション・情報研修事業 11回

月 日	講 座 名	会 場	参加数
7月20日(金)	新しい手話①	高岡ふれあい福祉センター	25
8月4日(日)	日本手話①	射水市大島社会福祉会館	21
8月19日(土)	映画の会①	高岡ふれあい福祉センター	10
8月18日(土)	ろうあ協会とろうあ運動	富山県聴覚障害者センター	11
12月8日(土)	IT活用講座 電話リレーサービス	富山県聴覚障害者センター	16
12月8日(土)	新しい手話②	入善町民会館	18
1月30日(水)	新しい手話③	富山市総合福祉センター	16
2月24日(日)	日本手話②	立山町民会館	10
2月24日(日)	映画の会③	立山町民会館	6
3月12日(火)	映画の会② 花嫁の父	南砺市福野ひびきの家	11
3月2日(土)	意思疎通支援事業の利用	南砺市福野創造センター	8

② 文化・情報研修事業 5回

月 日	講座名	会 場	参加数
5月12日(日)	自然探求(山の集い)	立山方面 雪の大谷	33
6月17日(日)	講演会 アトムワールド・芝居	射水市高周波文化ホール	280
11月18日(日)	文化講演会 舞台を楽しもう	富山障害者福祉プラザ	250
2月16日(日)	文化教養講座 平成を振り返って	富山県聴覚障害者センター	6
3月3日(日)	耳の日福祉集会 講演会	富山県聴覚障害者センター	85

③ 社会・家庭生活研修事業 30回

月 日	講座名	会 場	参加数
4月8日(日)	女性講座① 生活習慣病予防	富山県聴覚障害者センター	16
4月8日(日)	高齢講座① 昔の手話、今の手話	富山県聴覚障害者センター	46
4月8日(日)	高岡地区講座① 滑川手話言語条例の今	高岡市ふれあい福祉センター	15
4月21日(土)	新川地区講座① 手話言語条例	入善町コスモホール	21
5月12日(土)	中新川地区講座① 時事解説	上市町文化研修センター	10
5月20日(日)	砺波地区講座① 茶道作法	小矢部市津沢コミュニティプラザ	18
5月26日(土)	体育講座 マラソンと私	富山県聴覚障害者センター	11
6月2日(土)	新川地区講座② ビーチボール講座	魚津市総合体育館	15
7月15日(日)	福祉講座① 退職後の暮らし	富山県聴覚障害者センター	22
8月5日(日)	ボウリング大会	富山地鉄ゴールデンボウル	27

9月2日(土)	青年講座① 写真の撮り方	富山県聴覚障害者センター	8
9月9日(日)	女性講座② ハーバリウム作り	富山県聴覚障害者センター	20
9月22日(土)	新川地区講座③ 社会見学	糸魚川方面	23
10月21日(日)	スポーツの集い ビーチボール	魚津市総合体育館	40
11月11日(日)	福祉講座② 障害者差別解消	富山県聴覚障害者センター	10
11月25日(日)	高齢講座② 中国・チベット訪問	富山県聴覚障害者センター	14
11月25日(日)	高岡地区講座② 茶道教室	高岡市ふれあい福祉センター	8
12月2日(日)	青年講座② 寿司教室	魚津市内芝寿司	13
12月8日(出)	教育講座① 聞こえない子どものアイデンティティ	サンシップとやま	20
12月9日(日)	交通講座 自転車と自動車の安全	富山県聴覚障害者センター	13
12月15日(日)	福祉講座③ ストレッチ等	富山県聴覚障害者センター	10
1月13日(日)	料理教室 ロシアの料理	サンフォルテ	12
2月3日(日)	高齢講座③ 大豆と麴料理	サンフォルテ	10
2月3日(日)	砺波地区講座② 里芋料理	小矢部市津沢コミュニティプラザ	20
2月16日(土)	中新川地区講座② 電話リレーサービス	中新川地区	10
3月9日(土)	高齢・女性・青年合同講座	富山県聴覚障害者センター	14
3月2日(土)	砺波地区講座③ 交通安全	南砺市福野創造センター	11
3月23日(土)	社会生活講座 ガーデニング講座	富山県聴覚障害者センター	16
2月23日(土)	労働講座 最近の就労の様子	富山県聴覚障害者センター	11
3月23日(土)	身体障害者相談員担当者研修	富山県聴覚障害者センター	5

(5) 平成30年度遠隔手話通訳サービス提供モデル事業

県内の公立病院等にタブレット端末を配備し、インターネットを介して富山県専任の手話通訳者が手話通訳を行う遠隔手話通訳サービスを実施することにより、窓口における対応の円滑化を図るため、次の事業を行いました。

①タブレット端末の選定・購入

県障害福祉課設置手話通訳者が使用するタブレット及び附属品としてマイク付きヘッドフォン、キーボードを購入し、通信サービス契約を交わしました。

公立病院等に配備するタブレットについては、配備を決定した3ヶ所分に予備を入れて4台のタブレットを購入しました。

②タブレット端末を配備する公立病院等の選定・連絡調整

公立病院等24ヶ所に配備を希望するかどうかの問合せ、説明を行った結果、下記の3ヶ所が配備することを決定。平成31年3月に配備を終えました。

- ・富山県立中央病院（富山市西長江）
- ・富山市民病院（富山市今泉）
- ・済生会高岡病院（高岡市二塚）

③タブレットを使用して窓口での手話通訳サービスを行うためのガイドンス・マニュアルを整備しました。

- ・対象は、聴覚に障害があり、手話によるコミュニケーションが可能な者
- ・受付時間は午前9時～午後5時（毎週月曜～金曜）
- ・病院の総合案内及び各診療科間痔口、院内処方の場合の薬局窓口の範囲で利用する。

2. 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

- ・正味派遣数151件、派遣者のべ225人

労働	医療	教育	申請	生活	講習等	集会等	会議等	警察等	その他	移動のみ
	13		21	9	51	14	17			45

3. 富山県コミュニケーション支援広域派遣事業

派遣費用の支払いが受けられる場合除き、①公的機関等が主催又は共催する行事等、②障害者団体等が主催又は共催する県全域を対象とする行事等、③きわめて専門性が高く市町村のコミュニケーション支援事業での対応が困難と認められる場合、④県外にわたる広域派遣の連絡・調整等に要する費用、⑤その他、実施主体の長が必要とが認められた場合の範囲で派遣するものです。主に県聴覚障害者協会、県障害者団体協議会などの会議や研修会に派遣しました。

- ・手話通訳 正味派遣数25件、派遣者のべ34人
- ・要約筆記 正味派遣数5件、派遣者のべ14人

4. 各市町村受託事業

14市町村から受託のコミュニケーション支援事業、または手話通訳者派遣事業については、下記の通り、手話通訳者派遣依頼正味件数647件（派遣のべ726人）、要約筆記者派遣依頼正味件数20件（派遣のべ42人）、合計派遣依頼正味件数667件（派遣のべ人数768人）となりました。

依頼正味件数667件を10分野に分けた実績は下記の通りです。

労働	医療	教育	申請	生活	講習等	集会等	会議等	警察等	その他
23	412	43	13	69	22	47	34	1	3

(1) 朝日町意思疎通支援事業

- 手話通訳者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）
- 要約筆記者派遣 正味件数0件

(2) 入善町意思疎通支援事業

- 手話通訳者派遣 正味件数32件（派遣のべ32人）
- 要約筆記者派遣 正味件数4件（派遣のべ5人）

(3) 黒部市コミュニケーション支援事業

- 手話通訳者派遣 正味件数96件（派遣のべ100人）
- 要約筆記者派遣 正味件数0件

(4) 魚津市意思疎通支援事業

- 手話通訳者派遣 正味件数3件（派遣のべ4人）
- 要約筆記者派遣 正味件数0件

(5) 滑川市聴覚障害者コミュニケーション支援事業

- 手話通訳者派遣 正味件数167件（派遣のべ180人）
- 要約筆記者派遣 正味件数1件

(6) 上市町コミュニケーション支援事業

- 手話通訳者派遣 正味件数4件（派遣のべ5人）
- 要約筆記者派遣 正味件数0件

(7)立山町コミュニケーション支援事業

手話通訳者派遣 正味件数24件 (派遣者26人)
要約筆記者派遣 正味件数0件

(8)舟橋村コミュニケーション支援事業

手話通訳者派遣 正味件数0件
要約筆記者派遣 正味件数0件

(9)射水市意思疎通支援事業

手話通訳者派遣 正味件数72件 (派遣のべ84人)
要約筆記者派遣 正味件数1件 (派遣のべ4人)

(10)高岡市意思疎通支援事業

手話通訳派遣 正味件数86件 (派遣者のべ100人)
要約筆記者派遣 正味件数1件 (派遣者のべ1人)

(11)氷見市意思疎通支援事業

手話通訳者派遣 正味件数10件 (派遣のべ13人)
要約筆記者派遣 正味件数0件

(12)砺波市手話通訳者等派遣事業

手話通訳者派遣 正味件数17件 (派遣のべ25人)
要約筆記者派遣 正味件数1件 (派遣のべ4人)

(13)小矢部市手話通訳者派遣事業

手話通訳者派遣 正味件数73件 (派遣者のべ79人)
要約筆記者派遣 正味件数0件

(14)南砺市手話通訳者及び要約筆記者派遣事業

手話通訳者派遣 正味件数63件 (派遣のべ78人)
要約筆記者派遣 正味件数12件 (派遣のべ24人)

5. 手話通訳者・要約筆記者一般派遣

主催者から派遣費用が支払われる県全域を対象にした大会、集会、研修会、講座、会議等、その他県外からの依頼等については公益事業の一般事業で対応しました。

- ・手話通訳者 正味件数268件、派遣者のべ475人
- ・要約筆記者 正味件数33件、派遣者のべ82人

6. 手話講習会等講師派遣

15機関・学校・団体からの手話講習会、福祉体験講座等の依頼に対応し講師を派遣。

- ・北陸ビジネス福祉専門学校
- ・富山市手話講習会基礎課程昼の部
- ・富山短期大学
- ・県立中央農業高等学校
- ・砺波市手話講習会
- ・黒部市手話講習会
- ・県職員研修所手話講座
- ・富山大学人間発達科学部 特別支援概論
- ・上市高校 社会福祉援助技術
- ・富山南高校
- ・となみ野高校
- ・南砺市手話講習会
- ・氷見市手話講習会

・YKK（株）黒部事業所 ・プラチナコンシェルジェ 案内担当職員手話講座

7. 電話リレーサービス事業対応

聴覚障害者情報提供施設にて電話リレーサービス事業を行うための厚生労働省の「高度情報通信等福祉事業費補助金」により、北信越地区としては社会福祉法人長野県聴覚障害者協会より委託を受ける形で電話リレーサービス事業を2018年9月4日より実施しました。

聞こえる人が電話をかけるのと同様に、聞こえない、聞こえにくい人が聞こえる人と電話をするために、インターネットによるビデオ通信や文字チャット通信を利用した双方向のコミュニケーションを提供し、地域社会における自立を推進することを目的としています。実施日は、火・水曜日の週2日間で、時間は9時～17時です。571件対応しました。2月よりオペレーターを1人増やしました。

・手話対応398件、文字対応173件。合計571件対応

4. 収益事業

1. 書籍は828冊（29年度732冊）、ビデオは11本（29年度52本）、季刊みみは279冊（29年度228冊）、合計して1,118点（29年度1,014点）の販売となりました。

講習会 テキスト類	わたしたちの手話 学習辞典	辞典・ ハンドブック	聴覚障害参 考書等	パンフ その他	季刊みみ	DVD
411	255	69	52	41	279	11

2. 各地区での講習会のため、奉仕員養成テキストが192冊、指導書は8冊売られています。また、「聴さんと学ぼう」が103冊（29年度83冊）と、短期間の手話講座や手話サークル等で活用されています。

3. わたしたちの手話学習辞典Ⅰは94冊（29年度60冊）、学習辞典Ⅱが43冊（昨年度19冊）と、根強い人気があります。今後も講習会の副教材として、また手話検定試験の参考書として呼びかけをお願いします。

4. 新刊図書は「新しい手話2019」73冊、「DVDで学べる はじめて出会う手話」53冊、「使える！スポーツ手話ハンドブック」50冊と、売り上げは順調でした。

5. 過去に発行された書籍は「手話で防災」が企業や県職員対象の手話講習会を中心に24冊、「医療の手話シリーズ①外来編」が、病院における手話講座などで12冊購入されています。

6. 富山県手話言語条例施行をきっかけとして、手話だけでなく、ろうあ運動についても理解が広がるよう普及していきたいと思います。

平成30年度会計決算報告

1. 全体について

拠点区分は社会福祉事業（本部事業、センター事業）、公益事業、収益事業の3つとしています。基本的な会計処理はこれまでと同じように、本部事業、センター事業、及び公益事業、収益事業の4サービス区分事業ごとに処理を行ってきました。

全体の資金収支計算書を合計して下記のようにになりました。

事業活動収入	64,867,379円
事業活動支出	60,641,852円
事業活動収支差額	4,225,527円
施設整備等資金収支差額	▲131,242円
当期末資金収支差額	4,094,285円
前期末支払資金残高	62,760,246円
当期末支払資金残高	66,854,531円

平成30年度の当期末支払い資金残高は、合計66,854,531円となりました。財産目録の最後にある「差引純資産」213,424,279円を資産の総額に関する登記として行います。

顧問税理士から、今年度もすべての事業において健全かつ正確に会計処理がなされている。経営は順調で「負債及び純資産の部合計」額の内、「次期繰越活動増減差額」が62.45%の割合になっており、60%以上というのはかなり良い状態であること、同様に「負債及び純資産信合計」額の内、「純資産の部合計」額の割合が96.29%で、健全な状態であるとの判断をいただきました。

決算修正処理では例年通り、本部事業とセンター事業間の経費の按分や、公益事業と本部事業、センター事業間の経費の按分についても、割合は按分根拠に基づき適正に行いました。収益事業での当期資金収支差額307,230円は、例年同様に公益事業への繰り入れる処理をしました。その上で、公益事業より3,359,924円を本部事業へ繰り入れました。人件費について、経理処理の便宜上いったんセンター事業にて全員の分を計上していますが、センター運営補助金に計上されている人件費は5名です。手話通訳設置事業の設置手話通訳者2名分は公益事業にて按分し、残る1人分の不足分について本部事業からセンター事業へ1,119,450円を繰り入れる処理をしました。この結果、当初は赤字予算を編成しておりましたが、電話リレーサービス事業の委託料収入があったことにより、当期末資金収支差額は4,094,285円の黒字決算とすることができました。

これらの決算修正処理での経費按分処理や、事業区分間での資金の繰入処理等は、新会

計基準では同一法人内の内部取引処理にあたり、決算で内部取引消去させなければならないということになっております。繰入処理は各区分間繰入金収入・支出という科目を使い、経費の按分処理は各区分間貸付金・借入金という科目を使って内部取引処理を行いました。これらの科目は正確に処理されていれば、必ず借方と貸方で同じ金額が計上されるので、最終的に法人全体としては相殺消去されます。よって、法人全体を表す決算書類では相殺される為、その金額は計上されませんが、それぞれの事業別や拠点別等の内訳表で確認することができます。

また、「社会福祉充実残額」の算定（貸借対照表の資産の部に計上した額から負債の部に計上した額を控除した額が、事業継続に必要な財産額を上回るかどうかを算定する事）については、社会福祉充実残額の算定式に従って計算したところ▲1,470,000円となり、「社会福祉充実計画」の提出は不要となりました。これは、人件費、公益事業での新しい事業の費用支出が増えたこと、毎年行っている減価償却累計額が年度の経過に伴って毎年増えていくこと、それらが要因となって、事業継続に必要な財産を上回るほどの剰余金は発生しなかったということです。

2. 社会福祉事業について

(1) 本部事業

* 資金収支計算書

(実際の資金の流れを表す)

事業活動収入計	5,573,521
事業活動支出計	3,719,710
事業活動収支差額	1,853,811
設備整備資金収支差額	0
その他の活動収支差額	2,240,474
当期資金収支差額	4,094,285
前期末支払資金残高	33,233,023
当期末支払資金残高	37,327,308

* 事業活動収支計算書

(経営状態を表す)

サービス活動収益計	5,571,021
サービス活動費用計	4,166,733
サービス活動増減差額	1,404,288
サービス活動外増収差額	2,500
経常増減差額	1,406,788
特別増収差額	2,240,474
当期活動増減差額	3,647,262
前期繰越活動増減差額	43,330,302
当期末繰越活動増減差額	46,977,564
次期繰越活動増減差額	46,977,564

本部事業の収入の中心は正会員の会費、賛助会費・富山ろう友新聞購読料です。会費収入は29年度より減額、賛助会費はほぼ同じ、購読料は9名分の13,500円増額となり、会員活動収益は、68,500円の減額となりました。全日本ろうあ連盟と北信越ろうあ連盟分担金の納入は、専門部会での確認により29年度と同じ270名分支払いましたので、8名分を協会が負担していることとなります。

最終的に、公益事業より3,359,924円繰り入れ、センター事業へ1,119,450円繰り出した結果、当期資金収支差額は4,094,285円となりました。

(2) センター事業

* 資金収支計算書

事業活動収入計	26,434,192
事業活動支出計	27,553,642
事業活動資金収支差額	▲1,119,450
その他の活動収支差額	1,119,450
当期資金収支差額	0

* 事業活動収支計算書

サービス活動収益計	26,434,192
サービス活動費用計	32,566,119
サービス活動増減差額	▲6,131,927
特別増減差額	3,449,700
当期活動増減差額	▲2,682,227

前期末支払資金残高	21,545,203
当期末支払資金残高	21,542,203

前期繰越活動増減差額	86,009,291
当期末繰越活動増減差額	83,327,064
次期繰越活動増減差額	83,327,064

人件費は経理処理上、いったんセンター事業で計上しています。30年度は、通常の職員6名体制から手話通訳者設置事業にて増員1名、協会職員1名増員により職員8名の赤字予算編成をしていました。手話通訳者設置事業の担当職員は、公益事業からの按分処理を行い、不足分の1,119,450円を本部事業から繰り入れて収支ゼロとしました。

3. 公益事業について

* 資金収支計算書

事業活動収入計	30,943,846
事業活動支出計	27,759,910
事業活動資金収支差額	3,183,936
設備整備資金収支差額	▲131,242
その他の活動収支差額	▲3,052,694
当期資金収支差額	0
前期末支払資金残高	7,985,020
当期末支払資金残高	7,985,020

* 事業活動収支計算書

サービス活動収益計	30,943,846
サービス活動費用計	27,765,390
サービス活動増減差額	3,178,456
特別増減差額	▲3,052,694
当期活動増減差額	125,762
前期活動増減差額	7,985,020
当期末繰越活動増減差額	7,985,020
次期繰越活動増減差額	7,985,020

電話リレーサービス事業による委託料が長野県聴覚障害者協会を通して4,750,000円の委託料収入がありました。当初の予算で計上していた手話普及事業は、富山県障害者社会参加促進総合事業に入れての実施となったため、手話普及事業は収入ゼロとなり、障害者社会参加総合推進事業は13,362,000円の補正予算となりました。しかし、遠隔手話通訳サービス提供モデル事業が、公立病院10ヶ所に配置するタブレットの予算を組んでいたところ、最終的に3ヶ所となったため、減額して12,751,956円の委託料収入となりました。また、県障害福祉課に配置するタブレットは大型のもので一式131,242円となり、公益事業では初めてですが、資産計上となりました。公立病院配置用のタブレットは単価が10万円未満なので器具什器費にて費用計上しました。

協会独自の公益事業である行政・教育機関・民間団体・企業等からの依頼による、手話通訳者派遣・要約筆記者派遣・盲ろう者通訳介助者派遣・手話講習会講師派遣については、一般事業収入全体で見ると、29年度より191,826円の減額となりました。

すべての委託事業について例年通り共通部分の経費等については、根拠に基づき適正に按分処理を行いました。また、収益会計から人件費の補填のために307,230円の繰入金収入があり、その後、計上された収支差額分の3,359,924円を本部事業会計へ繰入金として支出して、収支はゼロとしました。

この公益事業の収支差額分は、毎年全て本部事業へ繰り入れており、協会運営の維持管理に活用させていただいております。今後もこの財源を協会の健全な運営の為に、有効活用させていただく事にご理解をお願いいたします。

4. 収益事業について

* 資金収支計算書

事業活動収入計	1,915,820
事業活動支出計	1,608,590
事業活動資金収支差額	307,230
その他の活動収支差額	▲307,230
当期資金収支差額	0

* 事業活動収支計算書

サービス活動収益計	1,915,820
サービス活動費用計	1,608,590
サービス活動増減差額	307,230
特別増減差額	▲307,230
当期活動増減差額	0

収益事業の目的は、社会福祉事業を行う為の財源の確保です。書籍事業収入では29年度に比べて約14万円増えましたが、書籍仕入れも約14万円増額となったため、収益率が下がり、最終的な収支差額は、29年度より約6万円減収となりました。29年度と同様に、公益会計より支出している1人分の人件費の補填をするために、公益事業へ307,230円を繰入金支出し、収支ゼロとしました。